病院理念
城山病院は患者様のために存在します

しろやま

医療法人春秋会　城山病院広報誌

2026年11月号
VOL.113



11月号特集

クリティカルケア認定看護師について



クリティカルケア
特定認定看護師/主任
谷口貴哉さん

クリティカルケアとは生命の危機にある、または重篤な状態にある患者様に対して高度で専門的な看護を提供する分野です。クリティカルケア認定看護師は救急・集中ケア認定看護師の新しい名称で２０２０年に改名されました。

集中治療室（ＩＣＵ）の患者様のケアと病棟看護師の指導等を行う谷口さんに話を聞きました。

クリティカルケア認定看護師とは

二次救急機関である当院の集中治療室は８床で、救急搬送された患者様や院内の脳・脊髄・神経センターや心臓血管センター、消化器・乳腺センター等で手術を受けられた患者様が運び込まれ、患者様の全身管理を行うのが私の仕事です。

ここで求められるのは、目の前の患者様の身体の中で起きていること、患者様の訴えの陰に隠れている変化をバイタルサインや検査データー、観察など様々な情報から考え出す臨床推論能力です。

私は認定看護師の資格取得後、**特定認定看護師**の資格も取得しました。この資格を持つことで診療補助として医師の指示において特定行為を行うことができるようになりました。具体的には人工呼吸管理や調整等で、患者様の命に向き合う責任を一層持つようになりました。

目標は看護能力をあげていくこと



認定看護師の役割は「実践」の他に「指導」「相談」



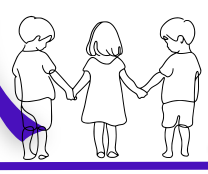
「指導」は高度な看護技術と知識を用いて、現場の看護水準を高めることです。

毎日の現場指導と併せて、院内の勉強会を定期的に行っています。また、集中治療室だけでなくすべての病棟を回り、現場の看護師から様々な看護技術について相談を受け、適切な指導を行っています。

当院には各専門分野の認定看護師、特定認定看護師が多数在籍しており、自分たちの知識と技術、経験で病院全体の看護能力を上げていくことを目標にしています。

ちなみに、当院の集中治療室には**認定看護師**が私を含めて**４人在籍**しており、民間病院の集中治療室に、これだけ多くの認定看護師がいるのは非常に珍しいです。

すべては人との出会いから



医療は医師だけでも看護師だけでも完遂できません。素晴らしいチーム医療を行うためにチームワークを重んじています。新人看護師でも委縮せず、自分の意見や疑問を恐れずに言える「心理的安全性」を高めることが重要だと思います。

毎日の挨拶から始まり、いつも話しかけられやすいこと、わかりやすい指導法など、**人とのつながり**を**大切**にしています。

この信念は看護学校で恩師に出会ったことから私の中に芽生えました。高校生の時にボランティア活動に目覚め、人のために働きたいと目指した看護師ですが、看護学校に入学し勉強に苦労していた私に恩師は親身になって指導してくれました。自分が看護師になり、こうして活動していることは、すべては**人との出会い**だと思っています。

災害訓練

城山病院で５回目の大規模災害訓練が行われました

南海トラフ地震を想定した実施的な訓練

10月4日
土曜日

8:55 地震発生

南海トラフ地震により負傷者多数発生

協力機関・市民団体
大阪南消防組合・羽曳野市役所
藤井寺保健所・災害協力病院
美原看護学校生（外傷メイクを施した患者役）

災害本部の立ち上げ
院内で災害本部を立ち上げる。

ガス臭が発生
入院患者を階段を使ってシート搬送。

トリアージブースの設置
トリアージブースを設置し、外来患者を対応

J-SPEED試行
電子カルテが使用できず紙カルテを使用し、今回は新たにJ-SPEED(災害時の診察情報を統一した形で集めて共有する仕組み)を試行。

講評
約４時間の訓練後、各担当者と参加機関から講評。

IMPORTANT!

大阪南消防局の方より「日頃から災害発生のニュースを聞いて各自が頭の中でシュミレーションすることが大切」と教わりました。





【実際の訓練の様子】



訓練は、羽曳野市災害医療センターとして災害発生時に迅速かつ円滑に対応できるようにする、災害時の災害協力病院との連携体制の構築を目的としています。そして、各エリアでの細かい目標を立て達成できるように取り組みました。

今回の災害訓練シナリオは、午前8時55分、南海トラフ地震が発生。震度6弱で古い木造建築や壁のタイルやガラスで負傷者多数。当院では、外来患者さんが押し寄せて来院しトリアージブースを設置・病室よりガス臭の発生のため病棟の患者さんの避難・入院患者さんの転送を行うなどのさまざまな場面のシュミレーションを行いました。
近隣の医療機関や市役所・保健所・消防局や患者さん役として美原看護専門学校の方々が参加して下さることで地域一丸となって訓練をすることができ、充実した内容となりました。
様々な課題もある訓練となりましたが、毎年訓練を行うことで日頃からの災害対策を意識していくことを大切に羽曳野市災害医療センターとして対策を行っています。

病院指標のご案内

「病院指標」は、厚生労働省の定めに基づき、DPCデータを用いて当院の診療実績などを公開するものです。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

城山病院ホームページでは
随時情報を発信しております。
スマホからも
ご覧いただけます>>>
https://www.shiroyama-hsp.or.jp

最寄駅から当院への送迎バスも運行中です。
ぜひご利用ください。
送迎バス
運行表はこちら>>>

医療法人 春秋会 城山病院
大阪府羽曳野市はびきの2-8-1
TEL　072-958-1000　(代表)